
あの日の僕ら

らじめにあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの日の僕ら

【NZマーク】

NZ8232Y

【作者名】

あらじめにあ

【あらすじ】

何処にでもいる男子三人。

でもみんな違う道を歩いている。

ー その時はまだ俺たちは子供だった。

ー リンサイドー

運命ーうんめいー

僕はもうすぐ高校受験という大事な時期に入っていた。
だからといって焦ることもなく、かといって全く勉強をしないとい
うわけでもなく、ただ…

ただ普通の生活を送っていた。

あいつに出来つけまではー

僕、松本リンは中学生生活最後の行事と言つてもいい受験というも
のの為に塾に通っていた。

行きたい高校もなく、将来したい事も見つかず、ただ周りが勉強
しているからしているだけ。

だから、勉強しているのに特別理由なんてなかつた。

僕には学校に行くという行為の意味さえも分からず、ただ毎日学校
に行つて、帰つて来てから塾に行くという行動の繰り返し。

明日は雨だと天気予報でアナウンサーが言つていた。

雨の日はもつと学校に行く気が失せる。

学校に行つてもする事は決まっている。

友達だという人達に対しては笑顔を向け続け、先生達にはいい子を
演じてみせる。

という行為を二年間続ける場所としか考えていなかつた。

家では2つ上の姉に毎日遊ばれる。

姉は世間でいういわゆる

「腐女子」というやつで、

姉はさらに「ヲタク」ってのを付けたしたのが姉だ。

姉はイケメンが大好きで、だからか知らないけど僕の顔をよくいじる。

そして姉の影響を大きく受けた僕はそこそこ顔がいい「ヲタク」になってしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8232y/>

あの日の僕ら

2011年11月24日16時47分発行